



ふるさと美郷への思いをはせて 第4回秋田・美郷町ふるさと総会

7月17日に東京都内で秋田・美郷町ふるさと会総会・懇親会が開催され、会員など約250人の出席のもと、役員追加案や今年度の事業計画などが承認されました。その後の懇親会では、昭和56年に中学校を卒業した当番幹事の皆さんの進行により、町的话题を紹介するスライドの放映やお楽しみ抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。会の最後には出席者全員で町民歌「光あふれて」を合唱し、ふるさと美郷への思いをはせました。



水環境をまもるため JAL美郷水環境保全キャンプ

7月30日から31日にかけて、JAL美郷水環境保全キャンプが開催され、JAL社員16名が来町し、町内の清水の清掃などを実施しました。第4回目となる今回のキャンプでは、2組に分かれて御台所清水と藤清水の清掃、美郷町の観光に関するワークショップなどが行われました。

秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

7月30日、宿泊交流館を会場に美郷カレッジが開催されました。今年度の共通テーマは「つくる（創る、造る、造る）」。第1回目となる今回は美術家である鴻池朋子さんを招き「個展『根源的暴力』より、人間はなぜものつくるのかを考える」のテーマで行われました。講義では、自分の作品に興味を失った鴻池先生が、新しいことを模索し、「皮」という新しい素材に出会った話など、美術家の視点から語られる「つくる」ということについて学びました。



バドミントンがつなぐ絆 駐日タイ大使が来町

8月4日、駐日タイ大使であるバンサーン・ブンナーウ氏とご家族が来町し、美郷総合体育館リリオス、美郷町宿泊交流館ワクアス、町内清水を視察されました。美郷町は2020年の東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」に登録され、タイ王国バドミントン代表チームの合宿誘致を目指しています。



さまざまな選手が町内で練習 日本大学バドミントン部が町内にて合宿

8月8日から13日にかけて、美郷総合体育館リリオスと美郷町宿泊交流館ワクアスにて、日本大学バドミントン部の合宿が実施されました。練習には北都銀行やヨネックスの選手らも加わり、普段とは違うハイレベルな内容に、参加者たちも全力で取り組んでいました。また、12日には町内小中学生約65名が総合体育館リリオスに集まり、バドミントンクリニックとして、日本大学の学生らによる指導が行われました。



百花齊放～可能性よ咲き誇れ～ 美郷町成人式

8月15日に美郷町公民館で平成28年度美郷町成人式が行われ、新成人187人の門出を祝いました。

式典では、新成人を代表して大阪航平さんが「私たちがこうして集い成人式を迎えられるのも、ひとえに私たちを支えてくださった家族や先生方、さらには地域の皆さまのお力添えがあったからです。本日の感激を胸に、成人としての自覚を新たにし、グローバルな視野とふるさとを思う心を併せもつ社会人になることを誓います」と謝辞を述べました。



清水まつりにてあいさつをする松田町長

コラム 風

「祈りの意味」

美郷町長 松田知己

みなさんもご覧になったリオ・オリンピック。多くの感動がありました。メダルを得た体操や柔道、卓球やバドミントンなどに加え、私はラグビーの躍進にも感動しました。素晴らしい試合でした。

そのラグビー、昨年のW杯で強豪南アフリカに勝利したことで一気に人気が出ましたが、その中心は五郎丸選手。ゴールキックの際に忍者のように手を合

わせて方向を見定める独特のポーズは、「ルーティン」という言葉とともに、大変に話題になりました。

そのルーティン。テレビ画面では、ゴールキックへの「祈りの行為」のように見えます。スポーツで強くなるためには、体と技を鍛える練習の積み重ねはもちろんですが、心を鍛えるとともに鎮めるあのような行為も、とても大切に思えてくる場所です。

翻って日常生活。祈るという行為、実に日常茶飯事です。仕事や勉強はもちろんのこと、人によっては恋愛や賭け事までも祈っています。私も、よく神仏に祈ります（神様も仏様も「またかよ」と言っているでしょうが）。ですがこの「祈る」という行為、やはり大切だと思います。自分に関係するお祈り事は、

実は自分の弱さなどの把握であり、一方でそれを認める強さにも繋がると思うからです。そしてそうした自分の実体を認識することは、他者に目を向ける場合に、他者への優しさにも至ると思うからです。その意味で祈りの行為は、深みのある優しさを醸成する入口かも知れません。

今月十七日、その「祈り」をテーマにした美郷カレッジを開催します。日本を代表する宗教学者の山折哲雄さんと美郷大使の永田萌さんの対談ですが、東日本大震災後の心の復興を核心に据えた対談とのことで、改めて「自分にとっての祈りの意味」を考えるきっかけになるものと思います。こうしたテーマで、しかもこのお二人による対談は得難い機会です。多くの方のご参加を期待しております。

さて、今月はいよいよ千屋出身の藤井新悟さんが出場するリオ・パラリンピックです。まずは心から地元選手を応援しましょう。そして「人を想う」優しさを伴って、勝利への祈りを捧げましょう。